

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1 施設名	仙台市広瀬図書館		
2 指定管理者	丸善雄松堂株式会社		
3 指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日		
4 施設の利用状況	《利用者数》 令和4年度 117,298人団体〔個人:116,911人、団体・文庫:387団体〕(前年度比 108.8%) 令和3年度 107,836人団体〔個人:107,546人、団体・文庫:290団体〕(前年度比 103.5%) 令和2年度 104,218人団体〔個人:103,955人、団体・文庫:263団体〕(前年度比 84.0%)		
	《事業》 仙台市広瀬図書館の運営管理		
5 収支の状況	《費用》 ()は前年度決算額		
	・ 指定管理者に支払った費用	56,100千円 (56,100千円)	
	・ その他市が負担した費用	8,350千円 (8,226千円)	
	《収入》		
	・ 使用料収入	0千円 (0千円)	
	・ その他収入	28千円 (19千円)	
6 利用者の声	《実施状況》 ・ 利用者アンケート 実施期間:令和4年12月10日～12月23日 ・ 利用者懇談会 開催日:令和5年2月3日		

二 管理運営に係る評価（モニタリングシートの結果によって評価）

評価分野	所見	評価
I 総則	図書館の設置目的を踏まえて策定された施設運営上の基本方針に基づき管理運営されており、全館共通の業務や行事を適切に行っている。また、サービスの質の向上や利用促進のための取り組みがなされている。	24/24
II 施設の運営管理体制	職員の勤務実績や配置状況及び施設の開館状況は仕様書のとおり適切であり、指定管理料は適正に執行されている。 個人情報保護の取り扱いや図書館情報システムのセキュリティ対策を徹底し、事故防止チェックリストに基づき、事故や苦情等の事例を榴岡図書館と共有し、ヒヤリ・ハット集の充実を図っている。災害発生時の訓練は、関係機関と合同で適切に実施している。	30/30
III 施設・設備の維持管理	建物、設備及び備品は適切に管理されている。複合施設全体で組織するごみ減量委員会に参加してごみの減量に努めており、利用者も巻き込んだ再利用・再使用の取り組みとして不要となったエコバッグ等を必要な人に提供するなど環境へ配慮した取り組みがなされている。	17/17
IV サービスの質の向上	館内表示について、利用者からの声を受けて、おはなしのへや入口に、配架している絵本の内容を表示した。また、細かい分類については色で区別することで、子どもから大人まで利用しやすい工夫を行っている。 職員の教育・研修において、定例休館日に、接遇研修や、個人情報保護研修など、全職員が参加する研修を実施し、サービス水準の確保に努めている。また、著作権法に関する研修や、レファレンス研修など、職員の資質向上のため、積極的に各種研修を受講している。	27/27
V 施設固有の基準	読書普及活動に係る業務では、前年度に引き続き、職員おすすめの本の展示やヤングアダルト(YA)コーナーの本の展示などを通して、積極的な読書案内が行われている。また、令和4年度より、併設の広瀬市民センターでの市民向け講座等の開催時には、関連テーマ本の展示を行い、来館機会の創出を図っている。 自主事業において、「広瀬図書館の日」記念事業の館長講演会が好評で、受付開始30分で定員に達した。アンケートには継続で開催してほしいという声が多く、講演の様子は新聞にも掲載された。 仙台高等専門学校広瀬キャンパスとの連携事業において、夏休みに高専から講師を招いて行う小学生対象の工作会は定評があり、図書館のPRにも大きく貢献している。	18/16

三 評価総括

《指定管理者（丸善雄松堂株式会社）による自己評価》
<p>令和4年度の図書館運営は、コロナ禍が続く中、図書館サービスの充実と感染拡大防止の取り組みを両立させることを重視して図書館運営に取り組んだ。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 基本業務は、図書館の基礎的サービスを着実に提供するための業務効率化に継続して取り組んだほか、隣接する宮城総合支所との連携・協力を一層進めることを通じて、市民の課題解決に役立つ図書館としてのサービスを充実させることができた。 2. 自主事業は、館長講演会を「広瀬図書館の日」記念事業として継続して大きな反響を得るなど、年間事業参加者数は延べ5,628人に上った。また、令和3年度末に収載するコンテンツを拡大するなどリニューアルした「ひろせアーカイブ」事業では、地域施設や関係機関との連携などによりそのコンテンツを充実させることができた。 3. 利用実績は、前年度比で利用者数/日（延べ人数）が17.9人増、貸出冊数/日が34.7冊増、返却冊数/日が30.4冊増といずれも増加した。なお、計算には令和3年度の開館日数として臨時窓口開設日（29日間）を加えた日数を用いた。 4. 職員に対する教育研修は、内容に応じて対面での研修またはリモート研修を選択しながら積極的に参加し、研修報告書の作成などを通じた研修内容の共有についても継続して実施した。 5. 運営の評価は、自己評価や市民図書館による定例監査を受けた。また、「利用者アンケート」を実施するとともに、図書館利用者等の意見・評価を得ることを目的とした「利用者懇談会」及び「ボランティア懇談会」を開催した。 6. 施設管理は、「仙台市公共施設点検要綱」に基づく定期点検を適切に実施した。また、入居施設である広瀬文化センターとの緊密な連絡により効率的な施設管理を行うことができた。

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>自主事業において、「広瀬図書館の日」記念事業の館長講演会が好評で、受付開始30分で定員に達した。アンケートには継続で開催してほしいという声が多く、講演の様子は新聞にも掲載された。参加者は60代以上を中心に幅広い世代が参加し約6割が図書館の利用登録がない方だったことから、図書館の利用促進に効果的な事業だと評価できる。</p> <p>前年度に引き続き、読書普及活動に係る業務として、職員おすすめの本の展示やヤングアダルト（YA）コーナーの本の展示などを通して、幅広い世代の利用者に向けて積極的な読書案内を行っている。特に、職員おすすめの本の展示は、期間ごとに職員がテーマを設定して展示を行っており、利用者が様々な本に出会う機会を提供するとともに、テーマや展示方法によって貸出回数等の実績が出ることから職員の意欲向上と成長の機会となっている。</p> <p>仙台高等専門学校広瀬キャンパスとの連携事業において、夏休みに高専から講師を招いて行う小学生対象の工作会は定評があり、図書館のPRにも大きく貢献している。</p> <p>仙台市天文台との連携事業では、前年度の事業に追加して、移動式プラネタリウムを用いたおはなし会を初めて開催した。職員の工夫により企画内容の充実を図った点が評価できる。</p> <p>また、令和4年度の新しい取り組みとして、広瀬市民センターで市民向けの講座開催時に、市民センター利用者向けに関連テーマ本の展示を行い、来館機会の創出を図っている。</p> <p>職員の教育・研修において、定例休館日に、接遇研修や、個人情報保護研修など、全職員を対象に研修を実施し、サービス水準の確保に努めている。また、著作権法に関する研修や、レファレンス研修など、職員の資質向上のため、積極的に各種研修を受講している。</p> <p>以上、広瀬図書館の指定管理者は、施設の設置目的に沿って適切に管理運営を行うとともに、地域の施設等と連携しながら職員が工夫をして新しい取り組みや、魅力的な事業を実施し、サービス向上に貢献している点が大いに評価できる。</p>	S

四 その他特記事項（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

特記事項

◎ 評価担当課(施設所管課):教育局市民図書館